

2026-02-要田-DairyCompに見る アメリカの牛個体識別番号-USDA って何？ -

DairyCompで牛の個体識別番号らしき物を入力できるITEMとして、アメリカのcowfileではREGとUSDAという二種類のITEMがあります。

Narr	Index	Loc/Op1	Len/Op2	Type	Description
USDA	110	238	9 33	USDA	ear tag #

Name	Index	Loc/Op1	Len/Op2	Type	Description
REG	4	4	9 33	Registration	Number

DairyCompにはUSDAとREGというどちらも耳標や個体識別番号を入力するためのITEMが複数ある。

THMSではUSDAというITEMを個体識別番号と認識したのか、そのUS部分をJPに入れ替えてJPDAというITEMでここに個体識別番号を入れて管理していることが多いようです。(実際の使用方法は獣医により異なるようですが)

一方で、USDAとはアメリカ農務省 (U.S Department of Agriculture) =日本で言う農林水産省の頭文字であり、このことが疑問でしたのでVAS社に質問したりして自分なりに調べてみました。

アメリカでの一般的な使用方法としてDairyComp上では牛の識別番号として用いられるのは基本的にEID: Electronical ID(電子ID), REG: Registration Number (登録番号), USDA (アメリカ農務省登録番号) の3種類があるようです。

この内、EID (電子ID) は耳や首に取り付ける活動量計や乳量計などの紐づけをする装置の識別番号、REG (登録番号) は血統登録やゲノム評価等でも使用される公式の番号で日本で言うところの(独)家畜改良センターが発行する個体識別番号のことだと言うことはすぐに分かりました。

ではUSDAとは何なのか、VASの回答は以下の通りでした。

アメリカではBang's ワクチンを注射した牛に対してアメリカ農務省が証明番号を発行

しており、その番号を入力するITEMである、とのことでした。

Bang'sワクチンは日本では聞き馴染みがないワクチンですが、牛ブルセラ症に対するワクチンで、初めて本症の病原体である*Brucella abortus*(ブルセラ アボルトス)を分離したデンマークの獣医師Bernhard Bangに因んだ呼称とのことですよ。

日本では、牛ブルセラ症は2021年4月に清浄化宣言がWOAH：国際獣疫事務局（OIEとも呼ばれます）に認められました。なお、清浄化が国際機関によって認められたのが最近というだけで、日本国内では1970年以降、牛から本菌が分離されたという報告はありません。

Abortusとはラテン語で流産の意味ですが、その名の通り、胎盤炎からの流死産を引き起こします。高い感染力と経済的損失の大きさから家畜伝染病（法定伝染病）に指定されています。人も動物から感染する人獣共通感染症として知られ、日本でも海外で家畜や畜産物に触れた人が日本で発症する輸入症例がたびたび報告されています。中東あたりの遊牧民の村でご馳走になったヤギのミルクを飲んで感染したという事例があったような記憶があります。

アメリカでも殆どの地域では本病は出ていないようですが、ロッキーマウンテン近くの一部地域で野生のエルク（この場合、オジロジカか？）やバイソンが保菌しているのので、そのような地域では“Bang's ワクチン”が打たれているようです。本病の重篤さからアメリカではワクチンによるコントロールを実施し、それを国家で管理していたという歴史的背景からUSDAというITEMがDairyCompに残っているものと思われます。



FOR ANIMALS TAGGED PRIOR TO NOVEMBER 5, 2024:

Official individual identification tags include:

- A or B) Orange metal or RFID vaccination tags on brucellosis vaccinated females
- C) 840 series RFID tags for US origin cattle
- D) Silver metal "Brite" tags (also known as NUES tags)

FOR ANIMALS TAGGED AFTER NOVEMBER 5, 2024:

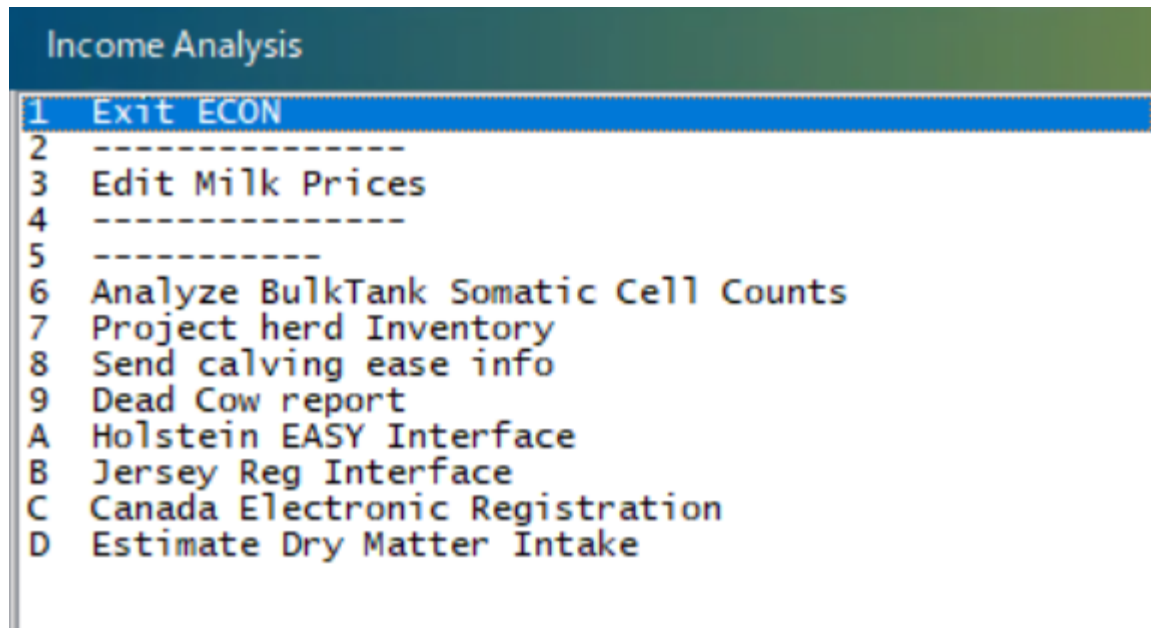
Official individual identification tags include:

- B) Orange RFID vaccination tags on brucellosis vaccinated females
- C) Yellow or white 840 series RFID tags for US origin cattle
- FOR FEEDER HEIFERS ONLY: A or D) 2025 born DSA heifers under 12 months of age and moving for feeding only purposes may be identified with a NUES (metal) tag

モンタナ州政府HPより。指定監視地域における未去勢・避妊牛以外の牛はタグでブルセラワクチンを接種したかどうか判別している。

DairyCompにはCALFVAC（育成牛ワクチン）というEVENTがありますが、システム管理EVENTとして保管されており、ただの子牛のワクチンなのに急に嚴重だと思っていたのですが、これはBang's ワクチンを打ったというイベントであるとのこと。

なお、REGに関しては、アメリカやカナダではDairyCompとホルスタイン登録協会、ジャージ登録協会などとの連携ができるようです。



ECONメニュー

A：アメリカのホルスタイン登録協会に相当する組織のEASY（Electronic Application SYstem: 電子申請システム）との連携

B：アメリカのジャージー登録協会に相当する組織との連携

C：カナダの電子登録システムとの連携

以上、散文でしたが、DairyCompの個体識別番号について疑問に思ったことを調べてましたので備忘録としてマネージメント情報にまとめました。

参考文献：

アメリカ モンタナ州政府HP

[Brucellosis](https://liv.mt.gov/Animal-Health/Reportable-Animal-Diseases/Brucellosis)

<https://liv.mt.gov/Animal-Health/Reportable-Animal-Diseases/Brucellosis>

アメリカ デクスター牛協会HP

[What is "Bangs" Vaccine?](https://dextercattle.org/wp-content/uploads/2019/10/What-is-Bangs-Vaccine.pdf)

<https://dextercattle.org/wp-content/uploads/2019/10/What-is-Bangs-Vaccine.pdf>

農研機構動物衛生研究部門HP

動物衛生研究部門:家畜疾病図鑑Web:ブルセラ症 | 農研機構

https://www.naro.go.jp/laboratory/niah/disease_dictionary/houtei/152273.html